※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持ち、「結果」だけではなく「背景」を考える。
・歴史的事象を「点」ではなく「線」、できれば「面」として捉え、合わせて歴史の時間軸を感じる。
・学習方法等は、初回の授業のガイダンスやその都度指示をします。毎回の授業にしっかりと出席をして聞いておく。

２　学習の到達目標

・我が国の伝統と文化の特色についての知識を身につける（知識及び技能）
・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察することができる。（思考力、判断力、表現力等）
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目標とする。（学びに向かう力、人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各学習単元の諸課題を理解し、その知識を身につけている。	各学習単元の諸課題を見出し、それらを多面的・多角的に考察し、様々な立場から公正に判断をし、学習内容の過程や結果を適切に判断している。	各学習において、積極的に取り組み、授業内においての話を聞く態度や発問への応答ができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文化と国家の形成	1.日本列島の旧石器文化 2.縄文時代の社会と文化 3.弥生時代の社会と文化 4.小国の分立から倭国の形成 5.大和政権の形成 6.倭の五王と大和政権の伸長 7.氏姓制度と群集墳の出現	a:原始社会の形成と展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的なことがらを、東アジア世界と関連づけて理解し、その知識を身につけている。 b:原始社会の形成と展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見出し、東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 原始社会の特色について関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
	古代国家の確立①	1.飛鳥時代の政治と文化 2.古代国家の形成 3.律令の成立と白鳳文化 4.平城京と律令政治	a: 飛鳥時代から奈良時代はじめの古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的なことがらを、隋・唐など東アジア世界と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b:飛鳥時代から奈良時代はじめの古代国家と律令体制の成立過程及び社会や文化から課題を見出し、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 飛鳥時代から奈良時代はじめの古代国家と律令体制の成立過程及び社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※令和４年度以降入学生用

二学期	古代国家の確立②	1.奈良時代の社会と政治 2.国家仏教と天平文化 3.平安初期の政治と文化 4.摂関政治の確立 5.国風文化の成立	a:奈良時代及び平安時代中期の古代国家の展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的なことがらを、隋・唐など東アジア世界と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b: 奈良時代及び平安時代中期の古代国家と社会や文化から課題を見出し、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:奈良時代及び平安時代中期の古代国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
	中世社会の成立	1. 中世社会の土地制度 2.武士団の成立 3.院政と保元・平治の乱 4.平氏の繁栄と治承・寿永の乱 5.鎌倉幕府の成立過程 6.承久の乱と執権政治 7.地頭の荘園支配 8.農工業の発達と流通 9.蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退 10.鎌倉時代の仏教と文化 11.北条氏の専制と悪党	a:平安時代後期から鎌倉時代の中世国家の展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的なことがらを、日明貿易など東アジア世界と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b:平安時代後期から鎌倉時代の中世国家と社会や文化から課題を見出し、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 平安時代後期から鎌倉時代の中世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
三学期	中世社会の展開	1.建武の新政と南北朝の乱 2.室町幕府の確立 3.室町時代の東アジアと日本 4.南北朝時代の文化と北山文化 5.室町幕府の流通経済の発達 6.惣村と一揆 7.室町幕府の衰退と戦国動乱 8.戦国時代の政治と社会 9.東山文化と地方への波及	a:建武の新政から南北朝時代及び室町時代の中世国家の展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的なことがらを、日明貿易など東アジア世界と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b: 建武の新政から南北朝時代及び室町時代の中世国家と社会や文化から課題を見出し、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※令和４年度以降入学生用

			その過程や結果を適切に表現している。 c: 建武の新政から南北朝時代及び室町時代の中世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度